

岩波新書で「認知科学」を読む

龍谷大学 理工学部 教授
小堀 聡

概要：

岩波新書などで認知科学というものについて勉強していきます。最初は、安西祐一郎著『心と脳—認知科学入門』（岩波新書）を読みます。少しずつ読み進め、分かりにくいところは講義で補いたと思います。

月	日	曜日	時間
4月	25日	木	10:00~11:30
5月	16日	木	10:00~11:30
6月	13日	木	10:00~11:30
7月	11日	木	10:00~11:30

テキストについて：

心と脳—認知科学入門（岩波新書）

安西 祐一郎（著）

（慶應義塾大学理工学部教授、理工学部長、慶応義塾長を歴任、現在日本学術振興会理事長）

税抜定価：860 円

内容紹介（アマゾンより）

人間とは何か？ 社会や環境の中で、何かを感じ、知り、考える心のはたらきとはどのような仕組みか？ それは脳の中でどのようにできているのか？ 20 世紀半ば、情報という概念を軸にして芽吹いた認知科学は、人間の思考や言語などを解き明かし、社会性や創造性の核心に迫っている。その全体像を描く、またとない入門書。

第 1 部 人間とは何か

五つの人間像

現象から見た心

心・脳・社会

探究の方法—哲学から情報へ

第 2 部 認知科学の歩み

誕生—1950 年代の息吹き

形成—1960 年代の潮流

発展—1970 年代の広がり

進化—1980 年代の展開

第 3 部 未来へ

心と脳のつながり—1990 年代から今日へ

未来へ—医療・身体・コミュニケーション・教育・デザイン・芸術・創造性

同書についてのサイト

<http://www.ayu.ics.keio.ac.jp/references/cognitivescience/>

ご本人の弁「入門というのは入口という意味で、この入門書ですべてが分かるというわけではない」

勉強会の進め方：

基本的には皆さんと相談して決めたい。

この本は入門書とはいうものの、内容的には密度が濃く、読み解くには背景となる知識が必要なので、分からないところは、皆さんから質問していただき、勉強会に集まった人たちに講義形式で補うようにしたい。

たとえば、次回までにどこまでを読むかを決めておき、その範囲での質問を、次回の一週間前までにわたしにメールで送ってもらう、というのも一つの方法だと思う。

担当者：

氏名：小堀 聡（こぼり さとし）

所属：龍谷大学工学部電子情報学科

主な担当科目：情報と人間（教養教育科目）、計算機基礎実習、論理回路とブール代数、認知科学と人工知能、生体システム特論（大学院）

2013年度より放送大学客員教授

2011年度～2012年度 放送大学 滋賀学習センター 面接授業「情報と人間」を担当

<教員紹介より引用>

本年度より客員教員になりました 小堀 聡 です。本務校の龍谷大学工学部電子情報学科では、計算機基礎実習、論理回路とブール代数、認知科学と人工知能、生体システム特論などを教えています。わたしの専門分野は認知科学というものです。認知科学とは、人間の身体や心のしくみを情報科学の考え方で分析していく学問です。その中でも、感覚・知覚と運動の相互作用を主たるテーマに研究しています。そう言うとても難しく思われるかもしれませんが、わたしたちの日常生活は、ある意味、すべて感覚・知覚と運動の相互作用によって行われています。たとえば、本を読んだり、スポーツをしたり、楽器の演奏をしたり、もそうです。ですから、認知科学の研究は、皆さんの日々の生活や学習にもきつと役立てることができると考えています。放送大学では昨年度までの2年間、面接授業において「情報と人間」という科目を講義しましたが、今年度からの勉強会では、認知科学に関わる基本的なことを岩波新書などの入門書を使って、皆さんと一緒に勉強していきたいと思っています。どうかよろしく願います。

（最近の論文「消滅と遅延を伴うボタン押し課題による認知症高齢者の視覚運動機能の評価—CDR との比較—」, 電子情報通信学会和文論文誌D, Vol. J94-D, No. 8, pp. 1450-1460 (2011)より）



小堀 聡 （正員）

昭 62 大阪大大学院医学研究科修士課程了. 平 4 龍谷大学工学部電子情報学科助手, 講師, 助教授を経て平 20 同大学教授となり現在に至る. 平 10 及び平 17 ロンドン大学認知神経科学研究所客員研究員. 生体情報処理と認知科学の立場から, 知覚と運動, 記憶と学習, 問題解決などに関する研究に従事. 情報処理学会, 日本認知科学会, 日本生体医工学会, 日本人間工学会, バイオメカニズム学会等各会員. 工博.

Webサイト <http://milan.elec.ryukoku.ac.jp>
電子メール kobori@rins.ryukoku.ac.jp

※担当科目の講義ノートなどもあり